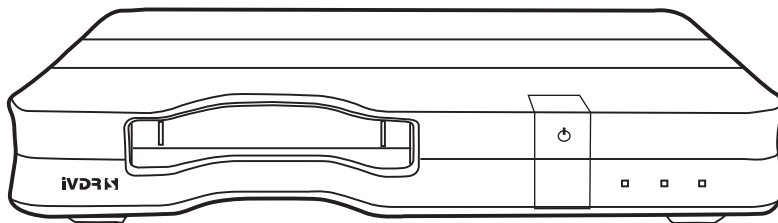


maxell

iV player

VDR-P200H

取扱説明書



HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お使いになる前に

接続する

再生する

その他

このたびは、マクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、この取扱説明書（保証書を含みます）は大切に保管してください。
別紙で追加情報が同梱されているときは必ず参照してください。

2013年11月

B-MANU202046-01
M-MANU201281-01

目次

はじめに	3
本機の特長	4
安全のために	5
お使いになる前に	9
梱包品の確認	10
各部のなまえ	11
■前面	11
■後面	11
■リモコン	12
動作環境	14
接続する	15
テレビと接続する	16
再生する	17
再生する	18
メニュー画面の説明	19
再生中のリモコンボタンの操作	22
その他	25
設定する	26
困ったときには	29
仕様	30

はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。
- 本製品およびこの取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください。）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記録内容の損失および記録や再生ができなかった場合の直接的、間接的損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- HDMI、HDMIのロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 「iVDR」と **iVDR** は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。

本機の特長

■録画されたテレビ番組を楽しむことができる！

日立ハイビジョンプラズマ/液晶テレビ Wooo でカセット HDD に録画・保存した番組の再生が他のテレビで手軽に楽しむことができます。

また、見たい番組がを見つけやすい曜日別表示や放送局別表示などに対応いたしました。

■高速スクロール

カセット HDD 内の大量のコンテンツを、スピーディに選択、再生ができます。

(最大 9999 コンテンツまで認識可能)

■サムネイル表示

一目でコンテンツを把握しやすいサムネイル表示

(利用可能な場合のみ)

■グループ表示機能

見たい番組をスピーディに、絞り込むことができます。

(フォルダ別、曜日別、放送局別、日付別、ジャンル別やチャプター、レジューム、削除口クの有無で絞り込み可能)

■シンプルリモコン&ガイドバー採用

シンプルなりモコンを採用しさらに画面にリモコンボタンのガイドを表示。

操作をわかりやすく、使いやすくしました。

■豊富なサーチモード

- ・Wooo で登録したチャプタが利用できる iV チャプターモード
- ・5 分単位でスキップできるジャンプモード
- ・30 秒単位送り、10 秒単位戻しでスキップできるスキップモード
- ・プレビューを見ながら最大 30 倍速まで操作できるシークモード

■レジューム機能に対応

ディスク単位で最後に見たコンテンツや、各々のコンテンツの視聴位置からの再生に対応リビングルームの Wooo で見ていた番組の続きをカンタンに楽しむことができます。

■HDMI リンクに対応

テレビ側が対応していれば、テレビのリモコンのコントロールボタンで、本機のメニューを操作することができます。

都度リモコンを持ちかえる必要がなくなるので、視聴をスムーズに行うことができます。

メディアの認識で入力を切り替えたり、テレビのオフで本機をスタンバイに移行するなどの連携もできます。

※すべてのテレビでの動作を保証する物ではありません。

■iVDR-S 認証高速化機能




最新の 32 台分の iVDR-S 認証情報の一部を記憶し、再接続時の認識時間の高速化に対応。

※接続する iVDR-S の種類、使用状態などにより、高速化効果は変わります。

安全のために


お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。


■警告および注意表示


 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。


■絵記号の例





 **車では使用しない**
本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。また、車内に放置しないでください。窓を閉めきった車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故のおそれがあります。また、冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。
市販されている電源コンバーターなどや、車についているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

 **ACアダプタは付属以外のものを使用しない**
火災・感電の原因になります。

 **ACアダプタに負荷をかけない**
・傷つけない ・重いものを乗せない ・無理に曲げない ・ねじらない ・引っ張らない
・加熱しない ・加工しない
ACアダプタが破損し、火災・感電の原因になります。











 **ACアダプタをタコ足配線しない**
発熱により、火災の原因となります。

 **ACアダプタが破損したときは使用しない**
破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。

 **本機やACアダプタが異常なとき（煙がでている、異常に熱い、変なおいがする）は使うのをやめ、ACアダプタをコンセントから抜く**

安全のために（つづき）


警告

-  改造または分解しない
火災、感電、またはけがをするおそれがあります。改造や分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、改造や分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。
-  雨や雪にあたる所、水辺、風呂場など、湿気の多いところでは使用しない
火災・感電の原因になるおそれがあります。
-  本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、薬品、化粧品、水などの入った容器を置かない
こぼれたり、中に入ると火災・感電の原因となります。
-  開口部（通風孔 / ディスク挿入口）から金属類や燃えやすい物を入れない
火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
-  本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、ACアダプタをコンセントから抜く
そのまま使うと火災・感電・けがの原因となります。お買い求めの販売店にご連絡ください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
-  保温・保湿性の高いものの近くで使用しない
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
火災・感電・けがの原因となります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。
-  お手入れをする場合や長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く
感電やけがの原因となります。
-  本機でデータ通信中にiVDRを抜いたり、電源を切ったりしない
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
-  梱包用のビニール袋については、以下に注意する
 - 梱包用のビニール袋は、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。ビニール袋をかぶったりすると、窒息のおそれがあります。
 - 可燃物ですので、火のそばに置かないでください。



■ 電池に関する安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したり、けがや機器故障の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

危険

-  電池の液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける

警告

-  以下を厳守する
 - 電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
 - 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますのですぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。
 - 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、機器を破損させるおそれがあります。
-  以下のことはしない
 - 電池を火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しないでください。絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
 - 電池の+と-を逆に使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
 - 電池の+と-を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
 - 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
 - 電池を充電しないでください。添付の電池は充電式ではありません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

安全上のために（つづき）



以下を厳守する

- 電池を完全密閉構造の機器に使用する場合は、機器の取扱説明書の指示に従ってください。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池は、使用方法や機器によっては仕様や性能が合わない場合があります。機器の取扱説明書や注意書に従って、用途に適した電池を正しく使用してください。
- 電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- 電池は、一般の不燃ごみとして捨ててもよいことになっています。自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。



以下のことはしない

- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池を変形させないでください。絶縁物やガス排出弁などが損傷し、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。熱により絶縁物やガス排出弁などが損傷し、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池は、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池を水などで濡らさないでください。発熱するおそれがあります。

お使いになる前に

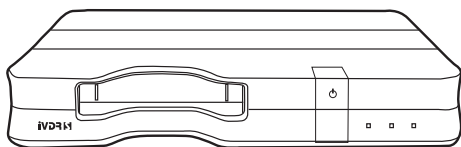
ご使用前に、梱包品、各部のなまえ、動作環境を確認します。

梱包品の確認	10
各部のなまえ	11
■前面	11
■後面	11
■リモコン	12
動作環境	14

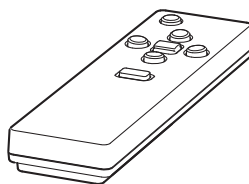
梱包品の確認

箱の中には以下のものが入っています。
□ にチェックをつけながら、ご確認ください。

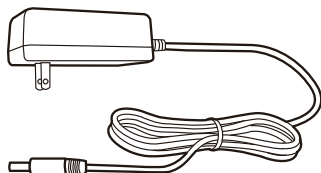
本体 (1台)



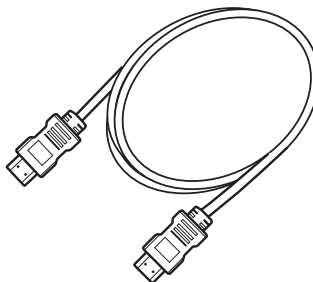
リモコン (1個)



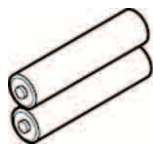
ACアダプタ (1個)



HDMIケーブル (1本)
[約1.8m]



単四形乾電池 (2個)
[動作確認用]



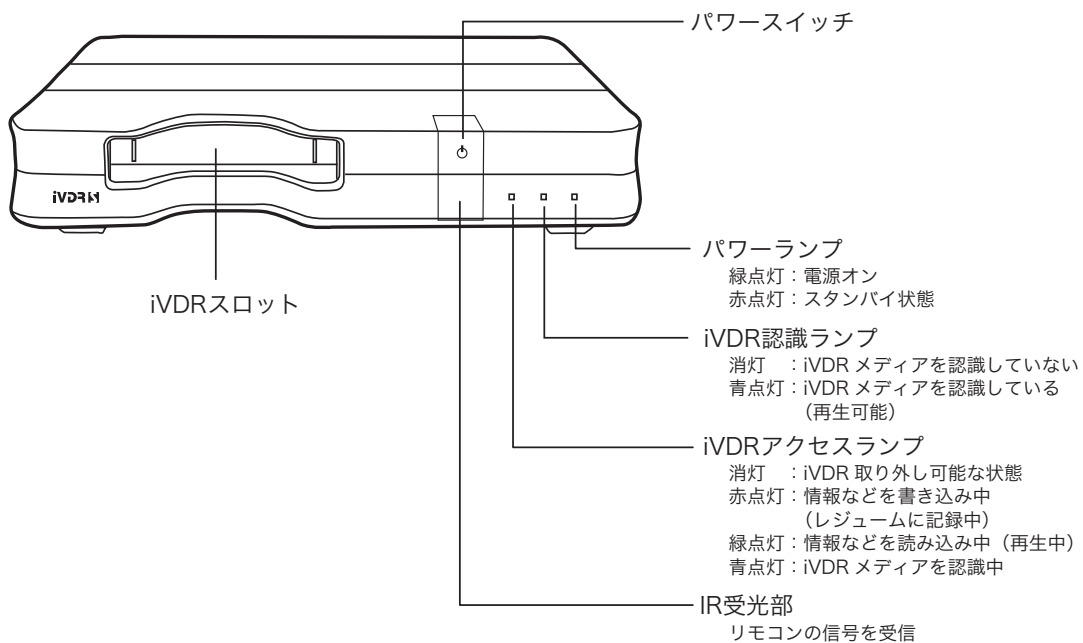
取扱説明書 (1冊) [本書]

保証書 (本書裏表紙)

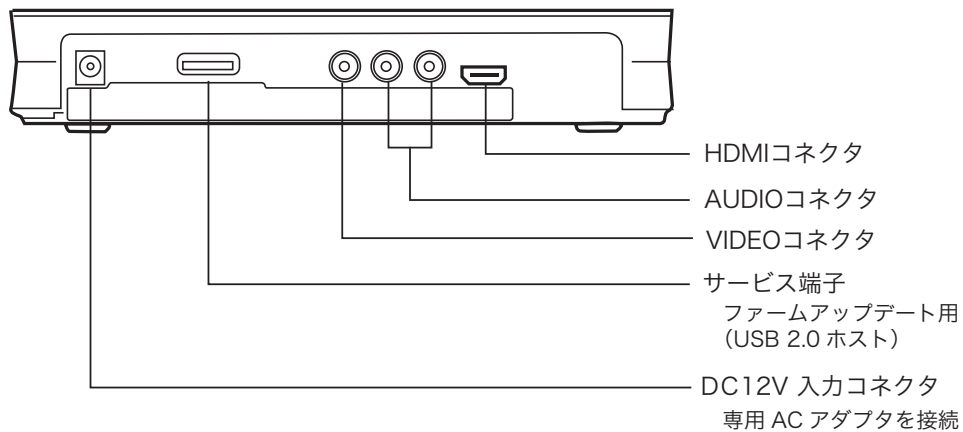
※ 箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
※ イラストは実物と若干異なる場合があります。
※ 本機には、iVDR は添付されておりません。別途お買い求めください。

各部のなまえ

■前面



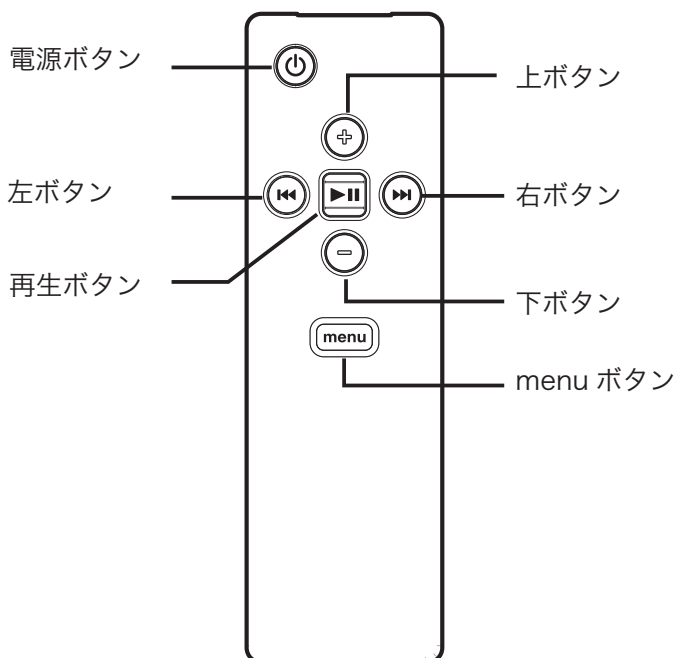
■後面



お使いになる前に

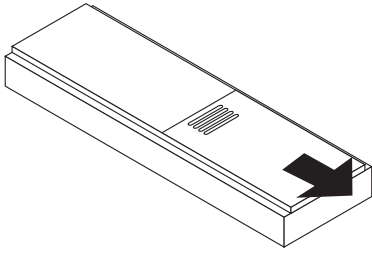
各部のなまえ (つづき)

■ リモコン

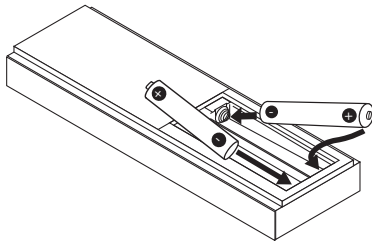


ボタン名		押し方	メニュー操作時	再生時
	電源ボタン	1回押し	本機の電源をオン/オフします。	
	上ボタン	1回押し	メニュー上移動	サーチモード切り替え
		長押し	メニュー上移動 (リピート動作)	サーチモード切り替え (リピート動作)
	下ボタン	1回押し	メニュー下移動	サーチモード切り替え
		長押し	メニュー下移動 (リピート動作)	サーチモード切り替え (リピート動作)
	右ボタン	1回押し	グループ右移動	スキップ送り/シーク送り (動作はサーチモードに従う)
		長押し	グループ右移動 (リピート動作)	スキップ送り/シーク送り (リピート動作)
	左ボタン	1回押し	グループ左移動	スキップ戻り/シーク戻り (動作はサーチモードに従う)
		長押し	グループ左移動 (リピート動作)	スキップ戻り/シーク戻り (リピート動作)
	再生ボタン	1回押し	メニュー選択・決定	再生/一時停止 一時停止中はOSDを表示
	menu ボタン	1回押し	1つ前のメニューへ	再生設定メニューを表示

●リモコンに電池を入れる



①裏ブタを開けます。

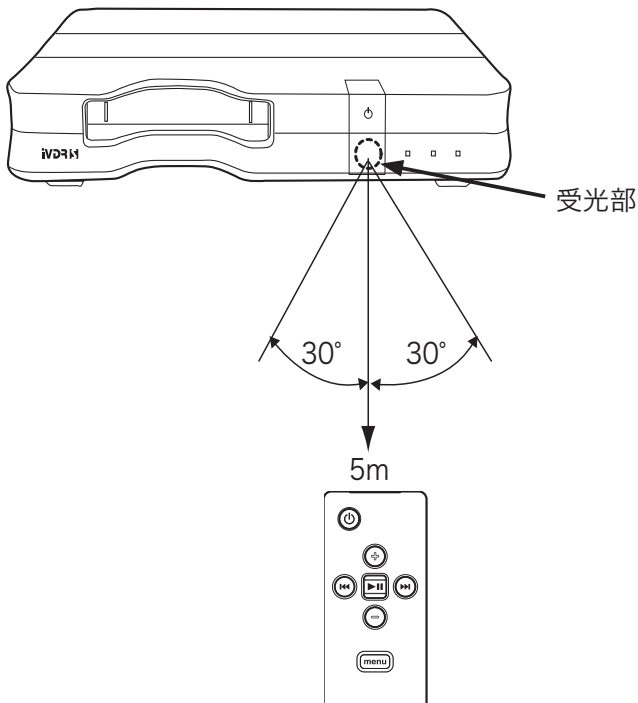


②電池のプラスとマイナスを確認して入れます。

※添付の電池は動作確認用です。なるべく早く新しい乾電池（単4）と交換してください。

●リモコンの操作

受光部より、距離 5m、左右に 30 度、上下に 20 度の範囲内でリモコンを操作してください。



動作環境

■テレビで視聴するとき準備するもの

テレビで視聴するには、以下のものを準備いただく必要があります。

- ・HDMI 端子もしくは、ビデオ / オーディオ端子の入力を備えたワイドテレビ
※ハイビジョンでお楽しみいただくには、HDMI ケーブルと HDMI 端子を備えたハイビジョン対応テレビが必要です。
- ・コンテンツが録画・記録された iVDR 規格に対応したカセット HDD



接続する

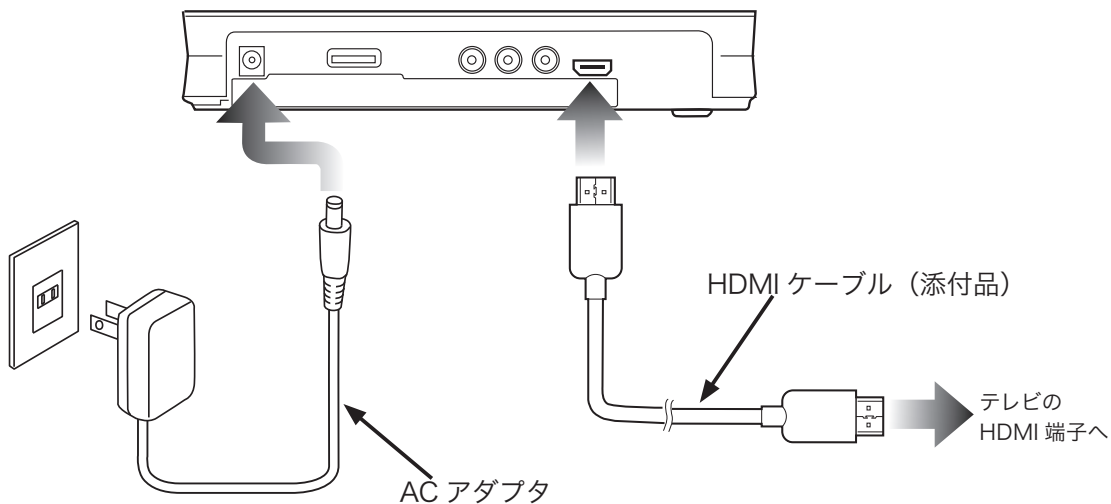
本機をテレビに接続します。

テレビと接続する	16
----------------	----

テレビと接続する

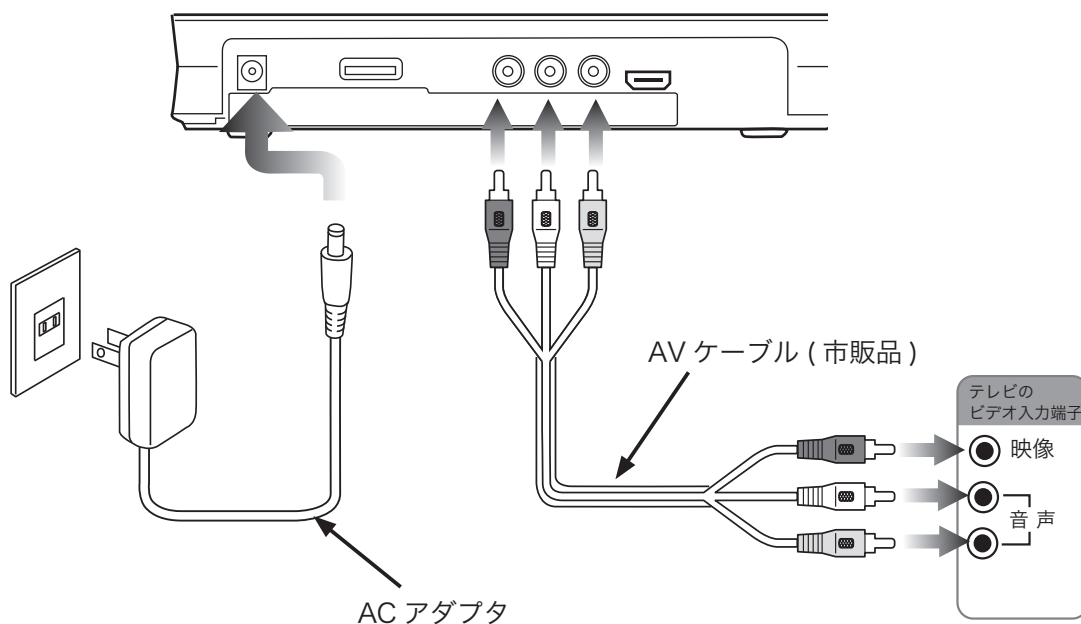
ご使用のテレビの映像入力端子の種類によって接続方法が異なります。
テレビの端子を確認し、以下のどちらか1つの方法で接続してください。

■ HDMI ケーブルで接続する場合



HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

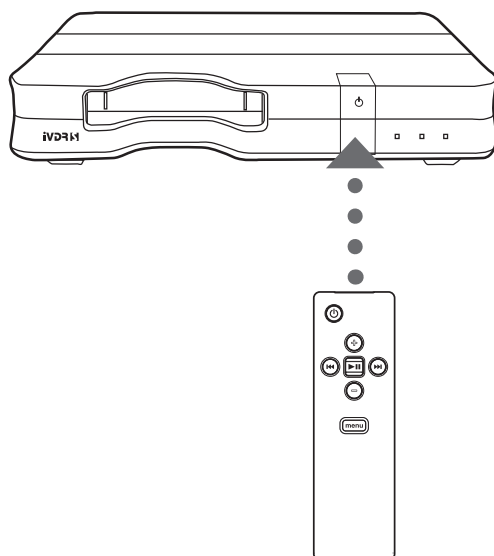
■ AV ケーブルで接続する場合



再生する

iVDR-S に録画されたハイビジョンコンテンツを見ることができます。

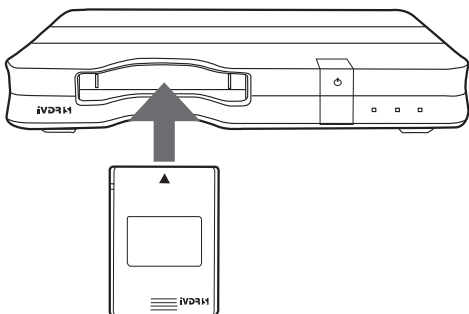
再生する	18
メニュー画面の説明	19
再生中のリモコンボタンの操作	22



再生する

1 iVDR-S を奥まで差し込みます。

カセットHDDのiVDR-Sのロゴ面を上にして挿入が止まるまで、ゆっくり押し込んでください。正しく挿入されると挿入口より約2mm入ったところで止まります。



iVDR-S の収録内容を確認し終わるまでに、約 40 秒～1 分ほどかかります。

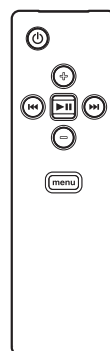
しばらくお待ちください。

2



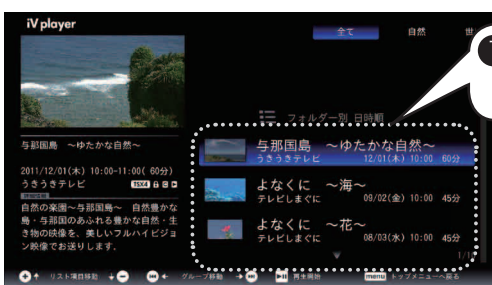
1 ④ ⑤ で [再生する] もしくは [続きを見る] ※を選択します。

2 ⑥ または ⑦ で決定します。



※ [続きを見る]: 最後に再生したコンテンツの続きから再生します。

3



1 ④ ⑤ で再生したい番組を選択します。

2 ⑥ で決定します。

4 番組が再生されます。

[MENU] ボタンで再生を中断した場合

「再生に戻る / 再生を終了する / 音声切り替え / 字幕」が表示されます。

※音声切り替え / 字幕は、利用可能なコンテンツのみ表示

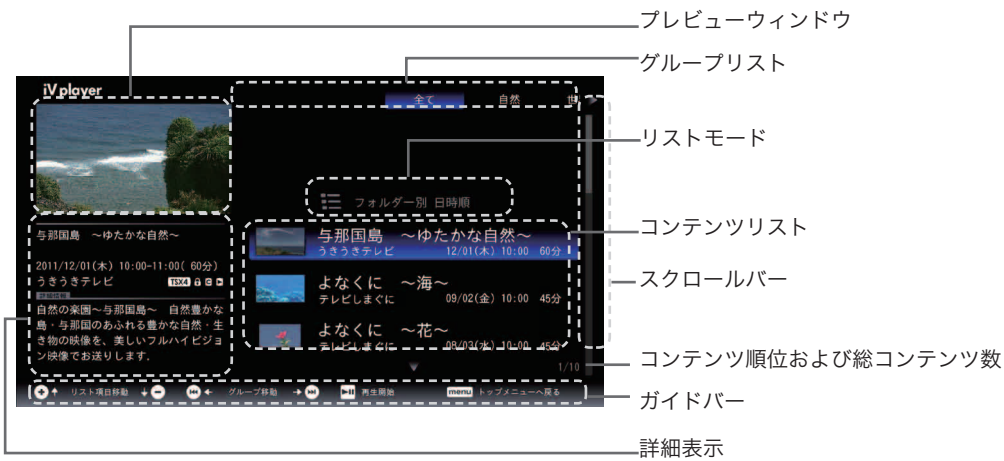
⇒「再生を終了する」を選択します。

レジューム情報が記録され、次回、中断したところから再生することができます。

※設定手順は、【設定する】(26 ページ) をご覧ください。

※リモコンの電源ボタンを押して再生を中断した場合は、レジューム情報は記録されません。

メニュー画面の説明



プレビューウィンドウ	サムネイルもしくは動画のプレビューを表示します。 サムネイル表示を選択時はサムネイルを表示します。 プレビュー表示を選択時は、メニュー操作停止約5秒後、選択動画の音声付プレビューを表示します。
グループリスト	「リスト表示の切り替え」で選択されたグループで、分類表示の現在の選択値の表示と、 ⏮ ⏭ により切り替えが行えます。切り替え結果は、コンテンツリストに反映します。
リストモード	現在選択されているリストのグループ表示・ソート順序に関する設定値を表示します。
コンテンツリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツ ・サムネイル画像 (利用可能な場合) ・コンテンツタイトル (入りきらない場合は、横スクロールによって全体表示します) ・放送局名 ・月 / 日 (曜日) ・番組開始時刻 ・コンテンツ時間 ●操作メニュー (最上端コンテンツで、上カーソルを押すと表示) ・「リストの表示切り替え」メニュー 表示グループ、ソートの種類を設定可能。
スクロールバー	リスト全体に対する現在の表示位置をバーの割合で表示します。
コンテンツ順位および総コンテンツ数	認識できているコンテンツ総数と、現在の選択コンテンツのソート順における順位番号を表示します。
ガイドバー	キー操作について、ガイド説明を表示します。
詳細表示	<p>以下の情報を表示します。</p> <p>※アナログ放送録画番組などでは表示されません。 ※録画番組によっては表示されない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツ情報 ・コンテンツタイトル ・年 / 月 / 日 (曜日) ・番組放送時刻 (HH:MM-HH:MM) ・コンテンツ時間 ・放送局名 ・IV 情報 (記録モード、削除ロック、チャプター、レジューム) ●詳細情報 ・コンテンツ詳細情報 (入りきらない場合は、下スクロールによって全体表示します)

メニュー画面の説明 (つづき)

■リスト表示の切り替え

コンテンツリストの表示を「グループ」、「並び順」から選択することができます。

※本製品の電源をオフにすると、コンテンツリスト表示の設定は解除されます。
電源をオンするたびに、グループの場合はフォルダー別表示、並び順の場合は日時順で表示します。

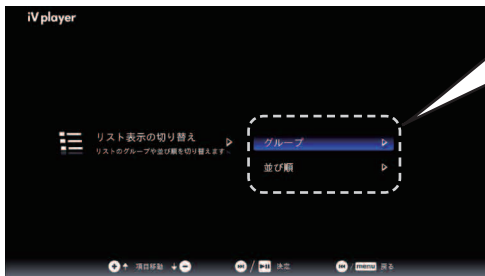
1 メニュー画面を開きます。



① リストの上端で を押します。

② または で決定します。

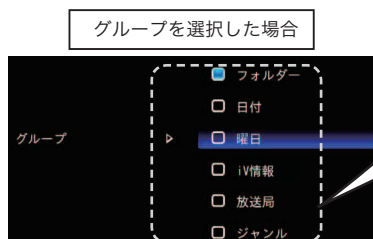
2 下記の「リスト表示切り替え」メニューが表示されます。



① で [グループ] または [並び順] を選択します。

② または で決定します。

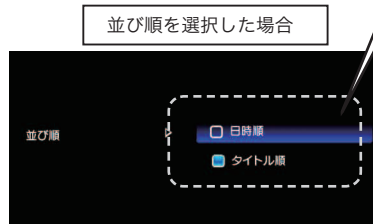
3 [グループ] または [並び順] の項目を選択します。



グループを選択した場合

① で項目を選択します。

② または で決定します。



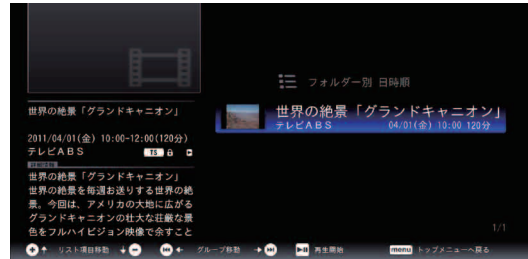
並び順を選択した場合

グループを指定して絞り込んで、iVDR カセット内の多量のコンテンツからスピーディに探し出すことができます。(グループの切り替えは、⏮ ⏭ でおこないます。)
また、コンテンツリストの「並び順」を選択して、探し出すこともできます。

すべてを表示している例



指定のグループを表示している例



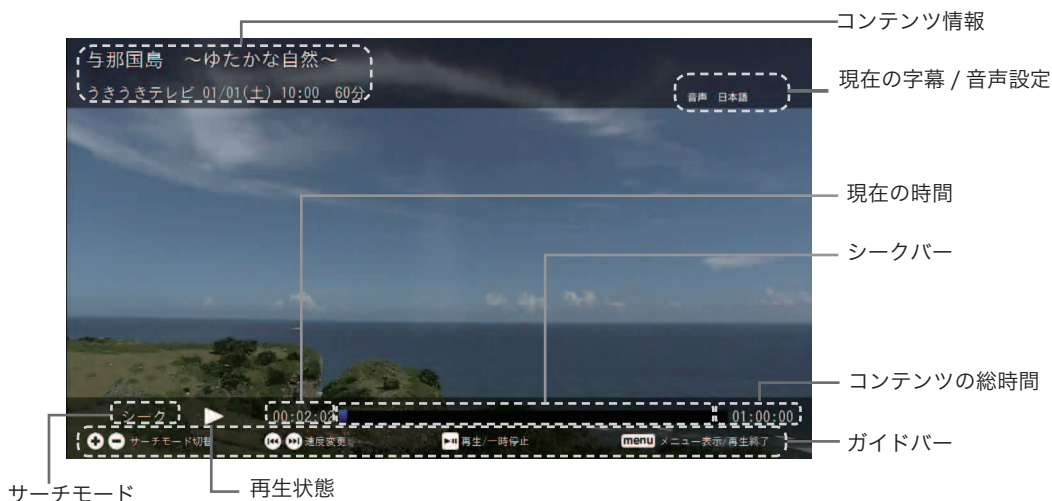
●設定項目

グループ	以下のグループモードを選択	
	フォルダー	フォルダー別でコンテンツリストを表示する ※ Wooo などで作成されたフォルダーを表示
	日付	日付別でコンテンツリストを表示する
	曜日	曜日別でコンテンツリストを表示する
	放送局	放送局別でコンテンツリストを表示する
	ジャンル	コンテンツのジャンル情報別でコンテンツリストを表示する
並び順	以下のソート順を選択	
	日時順	日時の新しい順でコンテンツリストを表示する
	タイトル順	タイトル名を昇順(数字、英字、日本語の順)でコンテンツリストを表示する
IV 情報	IV 情報別でコンテンツリストを表示します。 ①すべて … すべてのコンテンツを表示 ②レジューム … レジューム情報があるもののみ表示 ③ IV チャプター … マニュアルチャプターがあるもののみ表示 ④削除ロック … 削除ロック設定されているもののみ表示	

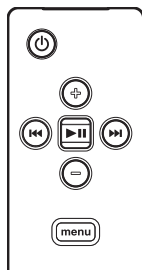
再生中のリモコンボタンの操作

再生中、リモコンのボタン操作で早送り / 早戻しなどができます。

■再生時の画面の説明



■再生時のリモコンボタンの説明



ボタン	再生 / 一時停止をおこないます。	
ボタン	下記サーチモードの切り替えをおこないます。	
	シークモード	画像を表示しながら、早送り、早戻しを指定の倍速で行うことができます。
	スキップモード	現在の再生位置から、30 秒送り・10 秒戻しを行うことができます。
	ジャンプモード	5 分単位の区切り位置に、再生位置をジャンプすることができます。
	iV チャプターモード	マニュアルチャプターを設定された番組で、指定されたチャプター位置にジャンプすることができます。※チャプター情報がない番組では利用できません。
	スローモード	実時間より遅いスピードで再生を行うことができます。
ボタン	再生を一時停止し、以下のメニューを表示します。 (次ページ【再生時 ボタンを押したときの画面】参照。)	
	再生に戻る	メニュー表示のため一時停止していた再生を再開します。
	再生を終了する	現在の番組の再生を終了し、選択メニューに戻ります。
	音声切り替え	音声モードを切り替えます。【●音声モード】(24 ページ) 参照。
	字幕	字幕の表示 / 非表示、言語を切り替えます。 【●字幕モード】(24 ページ) 参照

●各種サーチモードにおける操作

シークモード 	 ボタン 早送り動作を行います。 ボタンを押すたびに、1.2 (音声付)、2、10、30 倍速動作から選択できます。
	 ボタン 早戻し動作を行います。 ボタンを押すたびに、2、10、30 倍速動作から選択できます。
スキップモード 	 ボタン 30 秒スキップ送り動作を行います。複数回ボタンを押すと、30 秒×押した回数分スキップ送りできます。
	 ボタン 10 秒スキップ戻し動作を行います。複数回ボタンを押すと、10 秒×押した回数分スキップ戻しできます。
ジャンプモード 	 ボタン 5 分単位の区切り位置にジャンプ送り動作を行います。ボタンを押すたびに 5 分単位で移動します。
	 ボタン 5 分単位の区切り位置にジャンプ戻し動作を行います。ボタンを押すたびに 5 分単位で移動します。
iV チャプターモード 	 ボタン 指定されたチャプター位置にジャンプ送り動作を行います。
	 ボタン 指定されたチャプター位置にジャンプ戻し動作を行います。
スローモード 	 ボタン コマ送り、スロー送り動作を行います。 スロー送りは再生中にボタンを押すたびに、0.8、0.5、0.1 倍速動作から選択できます。 コマ送りは一時停止中にボタンを押すと、1 ステップ進みます。
	 ボタン コマ戻し動作を行います。 再生中に、ボタンを押すたびに、0.8、0.5、0.2、倍速から選択できます。 一時停止中に、ボタンを押すと、0.5 倍速で動作します。

●再生時 ボタンを押したときの画面



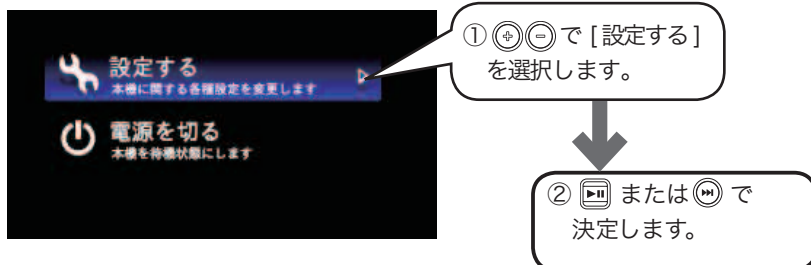
その他

設定する.....	26
困ったときには	29
仕様.....	30

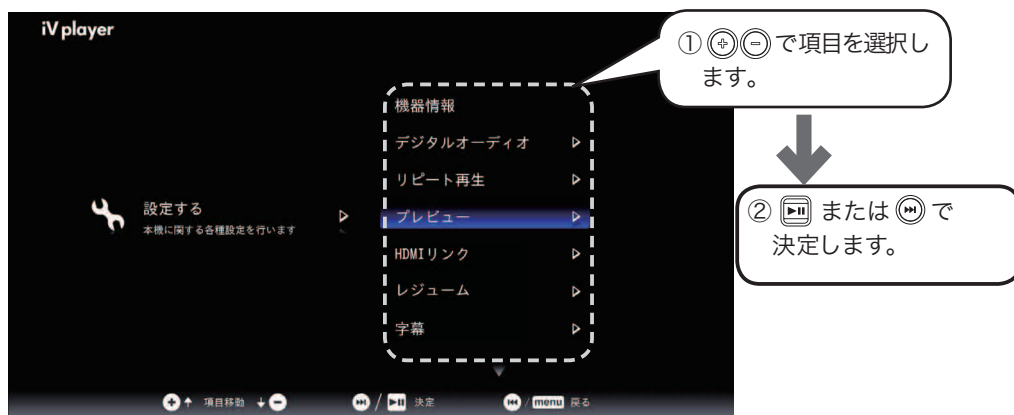
設定する

本機で設定する内容について説明します。

1 メインメニューから「設定する」を選択します。



2 設定する項目を選択します。



3 設定する設定内容を選択します。

⏪ ⏩ で設定内容を選択し、⏸ または ⏹ で決定します。

※設定項目と設定内容については、次ページ「設定項目一覧表」をご覧ください。

■設定項目一覧表

項目	設定内容	説明
機器情報	ファームウェア	現在のファームバージョンを表示します。
	iVDR 接続	接続状態を表示します。(接続 / 未接続)
	iVDR タイプ	iVDR メディアタイプを表示します。
	iVDR メディア使用容量	iVDR の使用容量を表示します。 表示例: 500GB 06% (33.3GB/499.6GB) 500GB=メディア容量 06%=使用率(使用容量 / メディア容量)
	ライセンス情報	フォントに関するライセンス情報を表示します。
デジタルオーディオ	PCM	HDMI のデジタルオーディオ出力を、PCM 2ch に設定します。
	パススルー	HDMI のデジタルオーディオ出力を、デジタルパススルーに設定します。外部 AV アンプなどに、AAC デコーダが搭載されている場合は、2ch/5.1ch デコーダで音声が出力されます。 ※未対応アンプ接続時は、無音または不正な音声が出力されます。
リピート再生	TV 番組に関する繰り返し再生動作を設定します。	
	リピートしない	再生完了後、メニューに戻ります。
	全コンテンツリピート	選択フォルダ内のコンテンツをリスト順にループ再生します。 ※早送りなどの操作で、コンテンツ再生が終了させた場合は、リピート動作はキャンセルとなります。 ※レジューム設定「有効」の場合、全コンテンツリピートでも再生中断したところから再生開始します。レジューム設定「無効」にすることによって先頭から再生します。 ※次番組に切り替わるとき、画面に番組タイトルが表示されません。
	1コンテンツリピート	選択コンテンツのみを繰り返し再生します。
	リピートせずポーズ	再生終了後、黒画面で静止します。MENU ボタンを押すと、メニューに戻ります。
	シャッフル	選択フォルダ内のコンテンツをランダムに再生します。
プレビュー	プレビュー表示	プレビュー動画表示する / しないを設定します。
	サムネイル表示	サムネイル静止画表示する / しないを設定します。

設定する (つづき)

項目	設定内容	説明
HDMI リンク	有効	<p>HDMI リンク機能を有効に設定します。 HDMI 接続時に以下の操作が可能になります。</p> <p>(TV →本機)</p> <p>①テレビリモコンのカーソルキー(上・下・左・右・決定・戻る)で、本機の操作をコントロールできる。(全機能)</p> <p>②テレビリモコンのプレイ制御キー(再生・停止)で操作ができる。</p> <p>③テレビのリモコンからの入力切り替えで自動で本機の電源をスタンバイから ON できる。</p> <p>④テレビの電源をスタンバイまたは OFF で自動で本機の電源をスタンバイで きる。</p> <p>(本機 →TV)</p> <p>①本機のスタンバイから復帰、iVDR メディアの挿入で、自動でテレビの電源 ON &映像入力切替できる。</p> <p>※テレビ側も HDMI リンク機能を有効にする必要があります。 ※テレビにより操作できる機能が異なります。 ※全ての HDMI テレビとの連動を保証するものではありません。</p>
	無効	HDMI リンク機能を無効に設定します。
レジューム	有効	再生中断時、レジューム機能が記録する。
	無効	再生中断時、レジューム機能が記録しない。
字幕	自動で表示する	字幕を表示します。
	自動で表示しない	字幕を表示しません。
アナログ表示設定	16:9 ワイドテレビ	HDMI 非接続時に、16:9 のテレビにあわせてアスペクト比を表示します。
	4:3 テレビ	HDMI 非接続時に、4:3 のテレビにあわせてアスペクト比を表示します。
言語 / Language	日本語	日本語表示に切り替えます。
	English	英語表示に切り替えます。
アップデート	USB メモリからアップデート	ファームウェアファイルを、FAT16/32 上の USB メモリからファームウェアを読み込み、アップデートを行います。
設定をリセット		<p>設定を初期状態に復帰します。</p> <p>※初期化されるのは、設定値のみです。ファームウェアアップデート実施後などは、初期ファームウェアには戻りません。</p>

困ったときには

本機を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

リモコンが反応しない

- AC アダプタが正しく接続されていない。
AC アダプタを接続しなおしてください。 (【テレビと接続する】 (16 ページ) 参照)
- リモコンに電池が入っていない。
電池が入っていることをご確認ください。 (【●リモコンに電池を入れる】 (13 ページ) 参照)
- 電池が消耗している。
新しい電池と交換してください。 (【●リモコンに電池を入れる】 (13 ページ) 参照)
- リモコンをリモコン受光部に向けていない、もしくは赤外線受光部の範囲から外れている。
リモコンを本機のリモコン受光部の操作範囲内で使用してください。
(【●リモコンの操作】 (13 ページ) 参照)
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある。または、リモコン受光部に強い光があたっている。
障害物やリモコン受光部に強い光があたる要因を取り除いてください。

画面 (映像) が映らない

- 映像ケーブルが接続されていない。
ケーブルの接続をご確認ください。 (【テレビと接続する】 (16 ページ) 参照)

音声が聞こえない

- ボリュームが下がっている。
テレビ側のボリューム設定をご確認ください。
- ケーブルが接続されていない。
ケーブルの接続をご確認ください。

メディアが認識しない

- メディアの抜き差しをしても正常に認識しない。
認識しない場合は、いったん iVDR メディアを取り外し、10 秒程待ってから、Wooo の iVDR メディアに交換してください。

仕様

外観および仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

対応メディア	iVDR-Secure (2.5 インチ) iVDR (2.5 インチ)	
iVDR-S 認証情報 記憶台数	最新の 32 台分の iVDR-S カセット HDD の認証情報 (リコネクション情報) を 記憶可能	
対応ビデオ フォーマット	MPEG-2、H.264 (MPEG-4/AVC)	
対応オーディオ フォーマット	AAC、MPEG-1 Audio Layer 2	
対応モード※1	TS/TSE/TSX4/TSX8 「HD」 : ハイビジョン画質 / TS/TSE/TSX24 「SD」 : 標準画質	
アナログ映像出力	NTSC カラー方式	
端子	HDMI 出力端子	19 ピン × 1
	VIDEO 出力 / アナログ音声出力 端子	ピンジャック X3 (黄・白・赤)
	サービス端子	USB-A コネクタ × 1 (ファームウェアアップデート専用)
電源	専用 AC アダプタ DC12V/1.5A (VDR-P200/VDR-P200H/IV-P1 共通)	
使用温度・湿度範囲	5 ~ 35°C 20 ~ 80% (結露がなきこと)	
寸法	約 230 (幅) × 170 (奥行) × 41 (高さ) mm (脚部含む / 突起部除く)	
質量	約 750 g (本体のみ)	
付属品	専用リモコン、専用 AC アダプタ、 HDMI ケーブル (約 1.8m)、単 4 形乾電池 (2 本)	

※ 本機は IPA フォントを利用しております。

IPA フォントライセンスについては、以下を参照してください。

http://ipafont.ipa.go.jp/ipa_font_license_v1.html

※1 BIV-R シリーズで録画した TS/AF/AN/AS/AL/AE: ハイビジョン画質 / XP/SP/LP/EP: 標準画質にも
対応しています。

----- 無料修理規程 -----

1. 万一製造上の理由により本製品が故障した場合は、この保証書を添えてお買い上げ店にお届けください。正常なご使用状態で購入後1年以内であれば、当社にて無料で交換いたします。尚、お届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にご負担願います。
2. 保証期間内でも次のような場合には有料になります。
 - 1) ご依頼の際、保証書の添付がない場合。
 - 2) 使用上の誤り（取扱説明書、取扱上の注意事項以外の誤操作など）により生じた故障。
 - 3) 修理・改造・分解などによる故障。
 - 4) お取り扱い上の不注意（落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機器内部への水、砂、薬品の入り込みなど）、手入れの不備（カビ発生、ちり・ほこり等）による故障。
 - 5) 本体以外の付属品及び消耗品。
 - 6) 一般用途以外（例えば、業務用の著しい連続使用、車両・船舶への搭載、展示品等を含む）に起因する損傷。
 - 7) 故障の原因が本製品以外（供給電源など他の機器）にあって、それを点検・修理した場合などの損傷。
 - 8) オークション、リサイクルショップ等で購入された中古品など。
 - 9) 前記以外で当社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
3. 本製品の故障に起因する二次的な損害（期待した利益の喪失、精神的な損害など）の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
4. 保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立マクセル株式会社お客様ご相談センターにお問い合わせください。
5. 本保証書は日本国内のみにおいてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証とアフターサービス

■ 保証書（裏表紙）に関して

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■ 本製品に関するお問合せ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセル株式会社

〒102-8521

東京都千代田区飯田橋2-18-2

お客様ご相談センター

TEL.(03)5213-3525

FAX.(03)3515-8261

<http://www.maxell.co.jp>